

平成 29 年度仙台市図書館事業報告書

～仙台市図書館振興計画(第二次)に基づく事業の実施状況～

平成 30 年 11 月

教育局市民図書館

目 次

総括 / 仙台市図書館協議会の意見	1
-------------------------	---

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館

(1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます	2
【楽しみや教養としてのニーズを支えるサービスの提供】	
【資料を介在した、落ち着いた居場所や新たな活力を生み出す場づくり】	
(2) 課題解決に取り組む市民を応援します	4
【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集・保存・提供】	
【レファレンス機能の充実】	
【課題解決型情報支援サービスの充実】	
【地域の専門機関との連携】	
(3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります	7
【電子情報の整備・充実とデジタル環境への対応】	
【紙媒体と電子媒体との両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】	
【様々なネットワークへの参加・連携】	
(4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます	8
【地域情報の蓄積・継承・発信】	
【市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信】	
【震災関連資料の継続的収集の推進と活用】	
(5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます	9
【市内大学図書館との連携 / 市内専門研究機関等とのネットワークづくり】	

方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館

(1) 乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します	10
【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】	
【小学生の読書支援の取り組み】	
(2) 障害のある子どもの状況に合った図書サービスを提供します	11
【障害のある子どもが利用しやすい資料の収集、読書環境の整備】	
【関係機関との連携強化、ニーズに応じた取り組み】	
【障害のある子どもが来館しやすい環境整備】	
(3) ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります	12
【各図書館のヤングアダルトコーナーの充実】	
【中高生向け広報の強化】	

【中高生による図書館サポーターの育成】

- (4) 学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します 14
【豊富な資料の学年に応じた提供】
【学校との連携の強化、協働による事業の充実】
- (5) 家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます .. 15
【子供図書室を核とした、地域の子ども読書支援】
【市内の保育園・保育所、幼稚園、児童館・児童センター等の地域施設の支援】
【地域のボランティア育成と活動支援】

方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館

- (1) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします 18
【市民センター等を活用した図書館サービス窓口の適正配置】
【分室、移動図書館サービスの再編等】
- (2) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします 18
【高齢者サービスの充実】
【障害のある人へのサービスの充実】
【外国人が使いやすいサービスの充実】

方向性 4 自らの変革を進める図書館

- (1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います 21
【計画的な資料の収集、保存、活用／資料収集方針に基づく分担収集と収蔵スペースの確保】
- (2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます 22
【図書館サービスの広報と図書館像の共有】
【文字・活字文化振興のための市民活動の支援、市民との協働による図書館づくり】
- (3) 図書館資源を適正に配分し有効に活用します 23
【システムやサービスのあり方の見直し】
【資料管理の効果的なあり方についての検討】
- (4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います 24
【事業評価の継続実施／市民による評価や意見の活用】
- (5) 図書館職員の資質の向上に努めます 25
【長期的視野から選書を行う職員の継続的養成／専門性と経営能力を備えた職員の養成】
【多様な利用者ニーズに対応したサービス提供と職員のスキルアップ】

◆ 総 括 ◆

平成 29 年度は、第二次振興計画をスタートさせた。新図書館情報システムの導入や若林図書館の第 2 期指定管理者の選定を行ったほか、子ども読書活動推進の新たな取り組みとして、読書通帳の配布や学校貸出資料の配送サービスを開始するなど、幅広い図書館サービスの利用者に一定の満足をいただけたと考えている。また次年度に向け、サービススポット設置のための調整、不明資料対策の検討など、図書館が抱える課題の解決や新たな利用者の開拓に向けても積極的に取り組んできた。

しかし、全国的な傾向にもみられるような図書館の利用者数の減少が継続しており、これまでの取り組みを継続しながらも、今後の課題として、さらなる利用者層の掘り起こしが必要と考えている。

◆ 仙台市図書館協議会の意見 ◆

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館

- ・ 図書館のあり方が多様化する中、登録者数、利用者数といった現状の枠組みに加えて、例えば様々な分野との連携による事業の成果などを図書館利用の新たな指標として検討してはどうか。
- ・ 客観性のある統計データを得るために、貸出利用者のみならず、来館者数や年代別利用者数が把握できるとよい。

方向性 2 0 歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館

- ・ 子ども読書支援では、学校訪問、読書通帳、ブックトークなど、これまで図書館ならではの活動を行っている。さらなる効果のため、引き続き学校との良好な関係構築に努めてほしい。
- ・ いじめ、命といったテーマに図書館として今後とも取り組んで欲しい。また SNS については、セキュリティ対応や専門的知識などの課題もあると思うが、活用を進めてほしい。

方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館

- ・ 図書館から遠い地域の高齢者など、図書館に簡単に出向けない人がもっと借りやすい方法があるとよい。

方向性 4 自らの変革を進める図書館

- ・ 図書館サービスを支える人材の育成のため、さらなる市民や中高生のボランティア参加を促進してほしい。
- ・ 雑誌広告スポンサー事業は、地元企業がなるべく参加できるように努めてほしい。

施策 (1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます

平成29年度実施状況

【教養や楽しみとしてのニーズや学びを支えるサービスの提供】

様々な本や情報と出会うきっかけとなる資料案内やブックリスト等の発行のほか、文字・活字文化に親しみ、読書活動を推進するための展示等を実施した。

●図書館資料(一般書、児童書、視聴覚資料)の案内やブックリスト等の発行

一般向け図書案内	「本の翼」(市民) 「広瀬図書館新刊案内」(広瀬) 「新着セレクト」(宮城野) 「つつじがおか」(榴岡) 「あなたのおすすめ本を教えてください」(榴岡) 「Choice of Books」(太白) 「シニアライフの充実は“図書館”から」(泉) 「本のいずみ」(泉)
児童図書案内	「BOOK TREE」 「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」 他 各館でテーマ別図書案内等 12種類を発行
中高生向け図書案内	「YAnews」(広瀬) 「福読軒 10代向けブックリスト2018」(広瀬) 「SUKIYAKI〜古今東西粋本集〜」(榴岡) 「YA通信 すばろーずペーパー」(泉)
新着AV資料案内	「AV新着案内」(広瀬) 「Come, Come」(宮城野) 「まんまるシアター」(若林) 「アンシャンテ」(太白) 「キー・ステーション」(泉)
広報紙等	「郷土のかぜ」(市民) 「広瀬図書館だより」(広瀬) 「図書館員のおすすめ本 Vol.2」(宮城野) 「榴岡図書館だより」(榴岡) 「若林図書館だより 本びより」(若林) 「映画のハナシ」(若林) 「てとてといずみ」(泉) 「子供図書室通信」(泉)
その他	「福袋の本リスト(一般向け・児童向け)」・・・「本の福袋」終了後に、福袋に入れた本のリスト を配布(宮城野)

●読書活動を推進するための展示の実施

- * 毎月のテーマ展示を行う他、随時話題の資料の展示コーナーを設け、資料選びの参考となるよう配慮した。(全館)
- * 「追悼コーナー」「直木賞受賞コーナー」「ノーベル賞受賞コーナー」等を、報道後迅速に設置した。(全館)
- * 春と秋の子ども読書フェスティバル期間中に関連のテーマ別展示を行った。(全館)

(各館の事例)

- * 絵本の装丁色と資料から喚起される感情に着目したテーマ資料展示「色×キモチ」を実施した。(広瀬)
- * 平昌オリンピックに関連した展示、また地元出身の羽生結弦選手の金メダル受賞に合わせた展示を実施した。(宮城野)
- * 省エネルギーや再生可能エネルギー関連の資料コーナーを常設し、利用者への啓発を行った。(宮城野、太白)

平成29年度実施状況(続き)

- *「あなたのおすすめ本をおしえてください」のアンケート結果をもとに、対象本の展示を行い、冊子を発行した。(榴岡)
- * CSR(企業の社会貢献)関連資料コーナーを設置し、市内企業や団体等についての情報を提供した。(若林)
- * いたばしポロニー子ども絵本館所蔵の外国語絵本の展示を行った。(若林)
- * 展示テーマに合わせた書籍リストを作成し、利用者への情報提供を行った。(太白)
- * 読書週間に合わせて「私のおすすめ本」展示を実施した。(泉)
- * 「世界の子どもの本展 2017～国際アンデルセン賞と JBBY 推薦書 2016～」を実施した。(泉)

【資料を介在した、落ち着いた居場所や新たな活力を生み出す場づくり】

「落ち着いた居場所」や「交流の場」としての図書館をめざし、市民が「本」や「人」と出会い、豊かな学びの機会を得られるためのイベントや、現役世代も参加しやすい閉館後の催し等を開催した。**拡充**

(各館の事例)

- * 様々な分野の本に興味を持つきっかけ作りとして「本の福袋」を実施した。(市民、広瀬、宮城野、榴岡、若林)
- * AV 資料についても、毎月のテーマ展示や時事に関する展示を行うとともに、上映会を実施した。(広瀬、宮城野、若林、太白、泉)
- * 閉館後の図書館を会場に、図書館利用を促し、深めるための講座を開催した。(市民)
 - ・Library After-Hours Part1「北欧の魅力と本の夕べ」
 - ・Library After-Hours Part2「千葉由香氏『みちのく仙台常磐町 小田原遊郭随想録』出版記念トークイベント」
- * 併設の広瀬文化センター、広瀬市民センターとの共催で、本に登場する音楽を題材としたコンサートイベント「音楽で奏でる本の世界」を開催した。(広瀬)
- * 読書会事業「ひろせしゃべぐる BOOKS」を継続して実施し、参加者が選書した資料を「広瀬図書館まつり」で「読書会の本棚」として展示した。(広瀬)
- * 宮城野図書館開館5周年記念として特別上映会や朗読コンサート「朗読とギターの調べ～宮澤賢治の世界」を開催した。(宮城野)
- * 文学講座・只野真葛の世界「只野真葛を知ろう」「作家勝山海百合『奥州ばなし』を語る」を開催した。(若林)
- * 絵本作家講演会「とよかずひこさんのおはなし会」を開催した。(若林)
- * 職員による手づくり講座「季節を楽しむ簡単切り紙・折り紙講座 クリスマス編」「はじめてのフラワーアレンジメント」を開催した。(若林)
- * 「絵本の中のお菓子をつくってみよう」を開催した。(若林)
- * 「ストーリーテリングのおはなし会」を開催した。(若林)
- * 夜の図書館「和合亮一ポエトリーリーディング」を開催した。(若林)
- * 女性のための夜話講座「野菜ソムリエ流 色からひもとくヘルシー生活」を開催した。(泉)
- * 天文講演会「冬のたのしみ」を開催した。(泉)

施策

(2) 課題解決に取り組む市民を応援します

平成29年度実施状況

【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集・保存・提供】

全国的な図書館利用動向や本市における傾向などを踏まえた、高齢者や障害者なども含めたすべての利用者にとって、様々な課題解決に役立つ資料を幅広く収集した。

	平成28年度	平成29年度
資料受入数(冊・点)	81,106	77,643
蔵書数(冊・点)	2,050,182	2,077,610
個人利用者数(人)	1,323,832	1,358,139
個人貸出数(冊・点)	4,149,826	4,157,986

※図書館で実施した講座等の資料も、受入可能なものは閲覧できるよう整備に努めた。

【レファレンス機能の充実】

社会教育施設や関係機関を通して専門分野に関するレファレンス資料及び情報の収集を行うほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の全館での提供を実施するなど、レファレンス機能の充実に努めた。**拡充**

※平成29年度 レファレンス件数 59,598件 (平成28年度 57,101件)

*レファレンス事例集「本の道案内」Vol.5の作成と配置を継続して行った。(全館)

*国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の全館での提供を開始した。(全館)

※平成29年度 利用件数 126件

*国立国会図書館のレファレンス共同データベースにレファレンス事例の登録を行った。(全館)

*パスファインダーの作成と配置を継続して行い、レファレンスサービスの周知を図った。(全館)

※平成29年度末 25種類

(各館の事例)

*受入する白書資料を見直し、内容の整理・充実を図った。(広瀬)

*レファレンスルームに展示棚を設置し、新刊郷土資料やパスファインダー、地域情報誌等の展示を行った。(宮城野)

*地名辞典をはじめ、広い分野において参考図書を受入するなどレファレンスツールの充実を図った。(若林)

*レファレンス資料の見直しを行い、出版年の古いレファレンス資料の更新を行った。(泉)

【課題解決型情報支援サービスの充実】

平成30年1月、図書館ホームページを全面リニューアルし、学校支援のページや3.11震災文庫、デジタルライブラリーのページを新設したほか、障害者サービスの案内をより見やすく配置するとともに、検索機能をより充実し、返却期限お知らせメールや新着お知らせサービス等の機能も追加するなど、利便性の向上を図った。**拡充**

* 図書館ホームページを随時更新(イベント情報・新着資料・テーマ別リスト等)し、情報提供に努めた。(全館)

* ホームページ「ヤングアダルト中高生のページ」において、中高生の課題解決に役立つ情報を発信した。

* 仙台市メール配信サービスにて、定例行事・イベント・お知らせ等の情報発信を行った。

※平成29年度メール配信回数13件、(平成28年度16件)

* 商用データベースサービスに、法律総合データベース、朝日新聞データベース、官報情報検索サービス等、新たに5種のサービスを追加し、課題解決に役立つ情報に、全館で利用者がアクセスできるようにした。(全館)

* 仙台市内の蔵書を持つ専門施設をリスト化し、平成30年1月よりホームページ上で案内を開始した。(全館)

【地域の専門機関との連携】

地域の専門機関と連携し、市民向け講座・講演会や情報展示コーナーの設置など、地域に関する情報の発信に努めた。

(各館の事例)

* 博物館との連携講座「エピソードからみた政宗の人物像」を実施した。(市民、泉)

” 「はじめて知る戊辰戦争―仙台藩と会津藩を中心に―」を実施し、関連資料の展示・紹介、及び蔵書リストの配布を行った。(広瀬、太白、若林)

* 八木山動物公園(セルコホーム ズーパラダイス)に図書館専用のパンフレットラックを配置し、各館のイベントの広報を行った。

* 法テラス宮城との連携講座「いまこそ知っておきたい!『相続と成年後見』の基本」を実施した。(市民)

* 吉野作造記念館や仙台文学館との連携講座「みやぎの思想と文学―宮城が育んだ二人の先人 吉野作造と井上ひさし―」を開催した。(市民)

* 天文台と連携し、「子ども天文教室」を開催した。(広瀬)

* 地域の住宅建築会社と連携し、講演会を行った。(広瀬)

* 前年度までに実施した企業連携事業の取り組みを紹介する「地元企業×広瀬図書館」パネル展示を行った。(広瀬)

* 隣接する宮城野区役所の協力を得て、転入者へチラシを配布したり、区役所内のモニターディスプレイに宮城野図書館の案内映像を流すなどして、周知に努めた。(宮城野)

* 仙台文学館の展示で取り上げた作家の関連資料の特別展示を行った。(宮城野)

* (特非)アイサポート仙台と連携して、視覚障害者・弱視者の現況と支援に関する講演会を開催した。(宮城野)

平成29年度実施状況(続き)

- * 宮城野区文化センターと共催で震災復興交流事業を行い、関連図書や災害マップを展示した。また、被災地応援DVD上映会を開催した。(宮城野)
- * 東口ガイドボランティア‘宮城野さんぽみち’と協働して歴史民俗資料館との連携講座「まちあるき歴史散歩 ひがしぐち今昔」を開催した。(榴岡)
- * 楽天ジュニアコーチによる「スポーツ講演会」を開催した。(若林)
- * 宮城教育大学等と連携し「めだかとおこめのたのしいおはなし」を開催した。(若林)
- * 富沢遺跡保存館と連携して、同施設でのテーマ展示に関連した図書館資料の展示のほか、市民講座「富沢遺跡と太白区」を開催し、関連資料の展示・紹介及び蔵書リストの配布を行った。(太白)
- * 日本政策金融公庫との共催で創業支援セミナーを行い、関連するパネルや図書資料を展示した。(泉)

施策	(3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります
平成29年度実施状況	
<p>【電子情報の整備・充実とデジタル環境への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商用データベースサービスを継続し、利用者に最新の情報を提供した。また、新たに農業・園芸に関する「ルーラル電子図書館」を導入した。(全館) 拡充 <ul style="list-style-type: none"> ※平成29年度利用者向け商用データベース 7種類(平成28年度6種類) 利用件数 672件(平成28年度596件) ・ 市民図書館の郷土資料コーナーに電子資料閲覧用機器を設置し、デジタル化した和書・漢籍・古地図の閲覧サービスを継続して提供した。 <ul style="list-style-type: none"> ※平成29年度利用件数 15件(平成28年度21件) ・ 資料デジタル化研修(国立国会図書館主催)に参加し、他都市図書館の電子資料導入状況等について情報収集に努めたほか、ホームページ上で所蔵資料のデジタルデータ公開を行った。 <ul style="list-style-type: none"> (各館の事例) * 地域のモバイルショップと連携し、図書館ホームページでの資料検索演習等を内容とする「タブレット体験教室」を実施した。(広瀬) * 「情報リテラシー支援講座」を開催し、タブレット型PC体験を通して情報端末による課題解決を体験する機会を提供した。(若林) * 大人のためのバックヤードツアーを実施し、商用データベースの紹介などを行った。(太白) <p>【紙媒体と電子媒体の両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページにレファレンス事例集「本の道案内」Vol.1～Vol.5及びパスファインダー25種類を継続して掲載し、図書館活用方法の周知に努めた。 <p>【様々なネットワークへの参加・連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立国会図書館のレファレンス共同データベースへの事例登録を継続して行った。 	

施策 (4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます

平成29年度実施状況

【地域情報の蓄積・継承・発信】

- ・ 図書、逐次刊行物、行政資料のほか映像資料も含め多様な地域資料の収集に努めた。

※平成29年度郷土資料受入数 2,468冊(平成28年度2,557冊)

(各館の事例)

- * 仙台市を中心とした旧仙台領の地域及び関係の深い地域の資料、同地域の出身者・在住者に関する資料等約47,000点を揃え、専門のコーナーで利用に供している。(市民)
- * メディアテークを会場に「とぶらす・ウィーク2017」(市民活動団体と協働で取り組む展示、トークイベント、おはなし会、体験型イベント等)を実施した。なかでも、「見る、さわる！古書の世界へご招待！」と題して、所蔵する江戸期からの和漢書約200冊を初めて展示し、古書や図書館資料の活用方法に関するミニ講座を実施した。(市民)
- * 地域にまつわる記憶や思い出を収集、保存、共有する「思い出アーカイブ」を継続して実施し、新たに4作品を加えたほか、関連の取り組みとして、併設施設で開催された写真展「フォトひろせ」の会場内に、「あなたの思い出 写真にぺたり」コーナーを設置し、来場者の思い出を付箋紙で収集した。(広瀬)
- * 仙台・宮城に関する本のテーマ展示「スクエア図書館」(市民)、「仙台で暮らす」(広瀬)、「ようこそ！仙台へ」(宮城野)を実施した。
- * 仙台市が発行した地図や仙台市に関する地図(ハザードマップや仙台市地価マップ、仙台市立小学校中学校通学区域図等)を整理し、管理及び利用しやすい工夫を行った。(宮城野)
- * 野球関連の図書や雑誌に加え、各種グッズや試合結果を展示し、「東北楽天イーグルス応援コーナー」の充実を図った。(宮城野)
- * 地元ゆかりの島崎藤村に関する「藤村コーナー」にて関連資料の展示や紹介を行った。(榴岡)
- * 大人向けの「映画上映会」にて仙台駅東の再開発が始まった頃の記録映像を上映した。(榴岡)
- * 仙台駅に近いことから、旅行者に仙台のまちを紹介できるように、仙台観光国際協会等から提供を受けた仙台の観光パンフレットを常備した。(榴岡)
- * 郷土資料コーナーに古地図を掲示したり、閲覧用資料を用意し、コーナーの充実を図った。(若林)
- * 図書館だよりに、仙台に関するコラム「せんだい歳時記」を連載し、郷土情報を発信した。(若林)
- * 「仙台89ERS 展示コーナー」を引き続き設置し、試合結果を継続して展示した。(太白)
- * 地元長町の無料タウン情報誌「NEXT」(太白)、地元のフリーペーパー「とみいず」(泉)を設置・配布した。
- * 「ベガルタ仙台展示コーナー」を引き続き設置し、サッカー関連資料や試合結果を展示するとともに、試合による交通規制情報も案内した。(泉)
- * 欠損部分の補充をし、地元地図の変遷を1冊にまとめた。(泉)

【市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信】

- ・ 市民の協力を得て仙台に関する情報の収集と資料の提供に継続して努めた。

※平成29年度寄贈による郷土資料受け入れ数 1,372冊(平成28年度1,760冊)

(各館の事例)

- * 地域資料の紹介や市民研究者からの寄稿を掲載した郷土資料コーナーの情報紙「郷土のかぜ」を発行した。(市民)
- * 図書館だよりにリレーエッセイ「図書館とわたし」を連載した。(若林)

平成29年度実施状況(続き)

- * 上映会開催時に掲示板を設置し、上映作品の感想やメッセージ等の交流の場を設けた。(若林)
- * NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台所蔵資料を借り受け、仙台七夕に関する展示を開催した。(若林)

【震災関連資料の継続的収集の推進と活用】

- ・ 東日本大震災関連資料や情報の継続的収集、3.11 震災文庫及び各館震災コーナーの充実と活用を図った。
※平成 29 年度末現在 3.11 震災文庫資料収集数 11,654 点(平成 28 年度末 10,324 点)
- ・ 仙台市政だより全市版に「3.11 震災文庫を読む」の連載を開始した。**新規**
(各館の事例)
 - * 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称ひなぎく)に、「3.11 震災文庫」に受け入れた図書等の書誌情報を追加更新した。(市民)
 - * 震災関連資料の展示を行った。(市民、宮城野、榴岡、太白、泉)
 - * 「防災おはなし会」を実施した。(榴岡、若林、太白、泉)
 - * 被災地応援の DVD 上映会『ラジオ』を開催した。(宮城野)
 - * 仙台市政だより「3.11 震災文庫を読む」で取り上げられた資料の展示を行った。(市民、若林)

施策

(5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます

平成29年度実施状況

【市内大学図書館との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】

- ・ 宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を継続して実施し、利用について館内掲示により周知を図っている。
※平成 29 年度実績 貸出 4 冊 借受 6 冊
- ・ 学都仙台オンライン目録(OPAC)(仙台の大学・短大が参加する横断検索)に参加し、ホームページ上でも周知している。
- ・ 市内の大学等との連携による取り組みの実施に務めた。
(各館の事例)
 - * 利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況確認を行っている。(市民)
 - * 図書館実習の学生を受け入れ、図書館学を学ぶ学生の養成に協力した。(市民、宮城野、太白、泉)
 - * 国立仙台高等専門学校広瀬キャンパスと連携し、児童向け科学工作会や「英語多読教室」の開催、「高専祭」に参加して広瀬キャンパス図書館との共催による「古本市」の開催により、相互の利用促進に繋げた。(広瀬)
 - * 宮城学院女子大学(職場体験)、仙台青葉学院短期大学(日本語表現法の講師として職員派遣)、聖和短期大学(施設見学)、尚綱学院大学(学生読み聞かせワークショップ)との連携を行った。(榴岡)

施策

(1) 乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します

平成29年度実施状況

【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】

- ・各種おはなし会を拡充しながら継続して実施し、読み聞かせの楽しさや大切さを伝えた。
- ・特に人気の高い「赤ちゃんおはなし会」について、全館で毎月実施することにした。**拡充**

【乳幼児向けおはなし会】

※平成29年度実施回数:178回(平成28年度 162回) 参加者数:3,412人(平成28年度 3,598人)

【幼児向けおはなし会】(幼児～小学校低学年対象)

※平成29年度実施回数:514回(平成28年度 495回) 参加者数:7,587人(平成28年度 8,107人)

【「赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうたの会」など、乳幼児及び保護者向けの行事】

※平成29年度実施回数:17回(平成28年度 16回) 参加者数:366人(平成28年度 352人)

- ・乳幼児の保護者向けブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」の配布先を拡大したほか、平成30年3月に改訂版(第3版)を作成した。**拡充**

※配布先:各区家庭健康課・総務課、各のびすく、市立保育所、各市民センター等

- ・生涯学習課が主催する仙台市子ども読書活動推進会議に参加し、関連部署との意見交換や情報交換等を行った。

(各館の事例)

- * 毎月第4水曜日に「あかちゃんタイム」を継続して実施し、おはなし会や絵本等を通じた赤ちゃんとのふれあいの場を提供した。(市民)
- * おはなし会ノート(市民、宮城野、若林、太白)や、おはなし会スタンプカード(榴岡)を配布し、継続参加を促した。
- * 児童館主催の乳幼児と保護者向けの講座で、ブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」を活用した講座を行った。(市民)
- * 0歳から1歳半頃までの乳児と保護者を対象に「はじめよう! ベビーサイン」を開催し、ベビーサインのほかに読み聞かせを行った。またおはなし会への参加も促すことができた。(広瀬)
- * 子育て応援コーナーを設け、「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」に掲載した絵本を育児に関する本と併せて展示した。(宮城野)
- * おはなしと絵本を通じて赤ちゃんとのふれあいの場を提供する「赤ちゃんおはなし会」を毎月開催に拡大した。(若林)
- * 地域の手づくり市での出前おはなし会「ヤギさんおはなしかい」を開催した。(若林)
- * 「ぬいぐるみおとまり会」を開催し、子どもたちに図書館を身近に感じてもらえる機会を提供した。(若林)
- * 子育てサークルが主催する親子サロンに参加し、読み聞かせと図書館広報を行った。(若林)
- * ブックリストの使い方や親子のふれあいのすすめなどを話しながら、乳幼児向けおはなし会で「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」で紹介した絵本やわらべうたを紹介した。(子供図書室)
- * 子育て支援通信「てとてといずみ」を継続して作成し、各図書館と各のびすくで配布した。(子供図書室)

平成29年度実施状況(続き)

【小学生の読書支援の取り組み】

- ・小学校1年生向け図書館利用案内を作成し、学校を通して市内全児童に配布した。
 - ※小学校1年生向け図書館利用案内「としょかんへいこう!」 配布校数 131校 配布枚数 8,946枚
 - ※「ようこそシール」 536枚
- ・小学生向けにおはなし会や工作教室、ブックトーク、1日図書館員、映画会等、子ども達が参加したり、図書館員と交流できる様々な読書支援サービスを行った。
- ・職場見学・体験学習等の積極的な受け入れを継続して実施し、図書館や読書への興味・関心をより深める機会を提供した。
 - *子ども映画上映会を開催した。(全館)
 - *図書館に関するクイズを通して理解を深める「としょかんたんていだん」を開催した。(榴岡)
 - *世界の絵本展「絵本でめぐる世界」を開催し、諸外国の文化に触れる機会を提供した。(若林)
 - *児童書への関心を高めるために「ミステリークエスト」を開催した。(若林)
 - *借りた本によるビンゴゲームを通して、広い分野の資料に触れる「読書ビンゴ」を開催した。(若林)
 - *夏休み期間に「宿題お助け隊」を開催し、図書館資料のアピールと利用促進を図った。(若林)

施策

(2) 障害のある子どもの状況に合ったサービスを提供します

平成29年度実施状況

【障害のある子どもが利用しやすい資料の収集、読書環境の整備】

- ・泉図書館子供図書室のユニバーサルコーナーをはじめ各館で、触る絵本や点字付き絵本、LLブック等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料の収集に努めた。
- ・触る絵本等の関連資料所蔵リストの各図書館での配布とホームページ等での公開を、継続して行った。
- ・子供図書室にマルチメディアデイスリー(DAISY)利用のための機器を継続して設置するとともに、利用促進に向けて小学校及び中学校全体説明会等で周知・広報を行った。

【関係機関との連携強化、ニーズに応じた取り組み】

- ・特別支援学級からの要望が多かった資料を中心に貸出資料の充実を図った。
- ・特別支援学校・学級専用資料について作成したチラシを、市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ配布するとともに、ブックトーク等で小・中学校を訪問する際にも配布し、広報に努めた。
 - ※平成29年度利用校数 12校延べ30校(平成28年度11校延べ27校)
 - ※平成29年度利用点数 984点(平成28年度642点)
- ・利用校に対するアンケートを実施し、ニーズに合った資料の充実を図った。
 - ※アンケートの送付校数: 11校(平成28年度9校)

【障害のある子どもが来館しやすい環境整備】

- ・市民図書館とメディアテークの連携事業で、手話を使った「手ではなすおはなしの会」を実施した。
 - ※定例おはなし会で手話付の絵本の読み聞かせを実施した。(市民)
 - ※施設見学で来館した特別支援学校の子供達に向けておはなし会を実施した(泉)

施策	(3) ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります
平成29年度実施状況	
<p>【各図書館のヤングアダルトコーナーの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生向けの本の紹介やビブリオバトル、ボランティア体験等の読書支援サービスを行った。ビブリオバトルは、初心者でも気軽に体験できるよう工夫して行った。 ・職場見学・体験学習等の積極的な受け入れを継続して実施し、図書館や読書への興味・関心をより深める機会を提供した。 <p>(各館の事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 中高生のおすすめの本の投稿ボックスを設置し、館によっては館内(YAコーナー)へ掲示を行った。(全館) * 高等学校向け学校貸出サービスの試行を継続した。(市民、泉) * とぶらすウィークで、「図書館員からのメッセージ」を添えて本を展示した。好評のため、とぶらすウィーク終了後も1カ月間継続して展示した。(市民) * 中高生を対象にビブリオバトルを開催した。(若林) * YAコーナーの本だけではなく、一般書や児童書など幅広い本を集めるなど中高生向け展示の工夫を行った。(太白) * 選書アドバイザーのおすすめ本を中心とするテーマ展示「選書アドバイザー's choice『福読軒』」を実施した。(広瀬) * 中高生向けに、学校生活やビジネス、世界のあり方などについてのテーマ展示や1年生向け図書館利用案内に掲載したおすすめ本の展示を行うとともに、YA席にも随時、ミニ展示を行った。(宮城野) * 中学生が作成した掲示物等をまとめた展覧会「若林図書館と中学校とのあゆみ展」を開催した。(若林) * のびすく泉中央との連携で、中高生ビブリオバトル「やってみよう！ビブリオバトル 2017」を開催した。(泉) * 中高生ボランティア(泉図書館YA委員会)による選書や「おススメブックガイド～BOOK GUIDE2017～」の作成、本の展示を行った。(泉) <p>【中高生向け広報の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館ホームページのリニューアルに合わせて、「ヤングアダルト中高生のページ」も一新し、各図書館で投稿された本の感想用紙を掲載するコーナーを設置するなど、情報発信を行った。拡充 ・ 中学校1年生向け図書館利用案内を作成し、市内学校を通して生徒に配布した。 <ul style="list-style-type: none"> ※中学校1年生向け図書館利用案内「図書館にいこうよ！」 配布校数 80校 配布枚数 9,950枚 ・ 高等学校1年生向け図書館利用案内を作成し、市内全高等学校に配布した。 <ul style="list-style-type: none"> ※高等学校1年生向け図書館利用案内「いざ！図書館」 配布校数 47校 配布枚数 12,306枚 ・ 子供図書室で、中高生向けの図書資料や行事を紹介する「YA通信」を発行し、全市立中学校及び高等学校等に配布するなど情報発信に努めた。 	

平成29年度実施状況(続き)

(各館の事例)

- * 選書アドバイザーを中高生から募り、中高生向けブックリスト「福読軒」(冊子版・リーフレット版)を作成した。ブックリストは青葉区内中学校及び近隣の高等学校に配布し、同世代の中高生に読書の楽しみをアピールした。(広瀬)
- * 施設管理者である宮城野区文化センターの協力を得て、中高生が多く利用するラウンジの卓にYAのおすすめ本の掲示を行った。(宮城野)
- * 選書サポーターを中高生から募り、冊子「SUKIYAKI～古今東西粋本集～」を作成した。冊子は市内中学校に配布し同世代の中学生に読書の楽しみをアピールした。(榴岡)

【中高生による図書館サポーターの育成】

- ・「みんなのおススメの本を教えて！」投稿ボックスを設置し、ホームページでも投稿された本の情報を紹介した。
※平成29年度掲示件数 88件(平成28年度 50件)
- ・子供図書室で実施した「泉図書館YA図書委員会」では、図書館業務の体験や、同年代に紹介したい「おススメガイドブック」の作成とともに、本棚の一角をPOP広告等で飾り本の展示を行う等、様々な企画を通して図書館への理解と興味を引くことができた。
- ・選書アドバイザーや選書サポーターが作成したブックリストを市内の中学校や高校に配布した。学校の図書室で見て、本の予約をしたという声もあり、中高生の読書支援に繋がっている。

(各館の事例)

- * 中高生のボランティア(選書サポーター、選書アドバイザー)によるブックリストの作成を通して、同年代へのおすすめ本の紹介などの情報発信を継続的に行い、読書のきっかけづくりを促進した。(榴岡、広瀬)
- * 選書アドバイザーが作成したブックリストには、仙台市図書館HPやHP内の「YA中高生のページ」へリンクできるようにQRコードを掲載した。(広瀬)
- * 選書サポーターが作成したブックリストには、「YA中高生のページ」へリンクできるようにQRコードを掲載した。また、最終日には書架を装飾して本の展示を行ったところ、幅広い層の利用者が足を止め、関心の高さが窺えた。(榴岡)
- * 選書サポーターが作成したYA書架用POP広告が貸出につながった(榴岡)

施策

(4) 学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します

平成29年度実施状況

【豊富な資料の学年に応じた提供】

- ・パッケージ貸出と学校貸出を、資料の充実を図りながら継続して実施した。
 - ※パッケージ貸出利用校 79校(平成28年度 74校) 延べ貸出回数 171回(平成28年度 155回)
 - ※学校貸出校 延べ319校(平成28年度 延べ320校) 貸出冊数 15,262冊(平成28年度 15,786冊)
- ・教科書変更に伴う新たな学校貸出依頼に対応できるよう資料の補充を行った。
- ・「朝の時間に読み切れない」との声に応え、朝読書用パッケージ(高学年用)の資料入替を実施した。
- ・学校貸出図書配送サービスを開始し、さらに返却時だけでなく貸出時も利用できるよう拡充を図った。**新規**

【学校との連携の強化、協働による事業の充実】

- ・公共図書館利用学習への支援を継続して実施した。
 - ※図書館見学、調べ学習 受入校 79校 延べ92校(平成28年度 74校)
- ・小中学生の職場見学・体験学習等の積極的な受け入れを継続して実施した。
- ・図書館発行物(子どもの本の案内等)により学校への情報提供を行った。
- ・市立小学校に除籍済資料を無償譲渡し、資料の有効活用を図った。
 - ※譲渡先 18校 譲渡冊数 2,018冊(平成28年度 17校 1,639冊)
- ・図書館職員による小中学校へのブックトークを継続して実施し、学校を訪問した際に学校図書事務員との情報交換を行った。
 - ※利用校 140校(平成28年度 141校)
- ・ブックトークボランティアによる小中学校へのブックトークを継続して実施した。
 - ※利用校 42校(平成28年度 32校)
- ・ブックトークボランティアの養成講座、ステップアップ講座を実施し、学校で活動するボランティアが増えたことで、ブックトーク事業の充実につながった。
 - ※実施件数 2件(平成28年度 2件)
- ・学校図書室担当者等向けの研修へ図書館職員を派遣した。
 - ※派遣件数 2件(平成28年度 1件)
- ・市立小中学校全校を対象に学校連携事業に関するアンケートを実施し、図書館事業に対する要望の把握に努めた。

(各館の事例)

- * 適応指導教室の職場体験を受け入れた。(市民・宮城野・若林・泉・榴岡)
- * 聴覚支援学校の職場体験を受け入れた。(市民)
- * 高校生の図書館実習を受け入れた。(市民・泉)
- * 短大生の図書館実習を受け入れた。(市民・宮城野・若林・太白・泉)
- * 榴岡小学校の職場体験「弟子入り留学」(4年生児童)、「町たんけん」(2年生児童)を受け入れ、図書館について理解を深めた。(榴岡)
- * 高等専門学校の図書館実習を受け入れた。(若林)
- * 南材木町小学校の朝読書での読み聞かせボランティアを対象とした基礎講座を実施した。(若林)
- * YA図書委員会募集のポスターを、市内の中学校と高校に送付し協力を募ったところ、学校からの勧めで申し込みをしてくれた生徒がいた。(泉)
- * 仙台市学校図書館部会にて、小学校の教諭を対象に「授業で使えるブックトーク」というテーマで実演、講義を行った(泉)

施策	(5) 家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます
平成29年度実施状況	
<p>【子供図書室を核とした、地域の子ども読書支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館全館において、春・秋の子ども読書フェスティバルを開催し、特別おはなし会やおすすめの本の展示等により子どもが本に親しむための機会を作り、家庭・地域への情報提供等を行った。また、「花いっぱいになあ〜れ」(春)や「ラッキーブックをさがそう！」(秋)などを全館共通で実施し、本を借りるためのしかけや工夫を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ※平成29年度「花いっぱいになあ〜れ」参加人数 11,607人(平成28年度 11,951人) ※平成29年度「ラッキーブックをさがそう！」参加人数 10,695人(平成28年度 9,456人) ・ 児童文学者講演会を開催し子ども読書活動を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ※児童文学者講演会「斉藤洋氏講演会」参加人数 124人 ・ 生涯学習課と協力し「家読(うちどく)」をテーマにした講演会を開催した。年齢別におすすめの本のリストを作成し参加者への配布とリスト掲載本の展示をした。また、講演会終了後も1カ月程度、市民図書館児童書コーナーで掲載本の展示とリストの配布を行った。新規 ・ 子育て支援施設のびすくと連携したおはなし会の実施や子育て支援通信等の情報紙配布、行事ポスターの掲示等を継続して行った。 <ul style="list-style-type: none"> ※平成29年度のびすくでのおはなし会実施回数 10回 317人(平成28年度 7回 279人) ・ 図書館見学等の来館時に、園児や児童を通して、各家庭へ利用案内やおはなし会等行事のチラシ、子ども向け広報紙等を配布し、図書館利用拡大に繋がる広報を行った。配布した広報紙に掲載されている資料の問い合わせや、行事への参加があった。 ・ 地域の保育所や幼稚園が、園外保育で来館する際に、希望に応じて臨時おはなし会を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ※平成29年度臨時おはなし会実施件数 3件 参加人数 60人(平成28年度 3件 75人) ・ 自書式の読書通帳を小学校低学年以下向けと小学校中学年以上向けの2種類作成し、平成29年10月より各図書館(分室含む)で配布するとともに、ホームページにも掲載した。また、通帳1冊終えるごとに認定シールを貼付し、子どもが継続して読書に親しめるよう工夫した。新規 <ul style="list-style-type: none"> ※平成29年度読書通帳配布枚数 14,021枚 認定シール配布枚数 1,195枚 	

平成29年度実施状況(続き)

【市内の保育園・保育所、幼稚園、児童館・児童センター等の地域施設の支援】

- ・児童館等の職員やボランティアを対象とした、読み聞かせやストーリーテリングなど、子どもの読書に関する研修・講座を実施した。

※平成29年度実施件数 10件 参加者数 226人(平成28年度 10件 210人)

- ・「子ども読書支援パック」を継続して貸し出した。

※平成29年度末現在パック数 74種類 167パック(平成28年度末 74種類 167パック)

※平成29年度貸出件数(保育園・幼稚園・児童館) 213件(平成28年度 208件)

- ・児童館等職員やボランティアに対して、窓口やおはなし会後の読書相談に対応したり、リストを配布し情報提供を行った。

- ・児童館等主催の子どもの読書に関する講座等へ図書館職員の派遣を行った。

※平成29年度派遣件数 3件(平成28年度 8件)

(各館の事例)

- * 児童館主催の乳幼児とその保護者を対象とする講座に講師を派遣し、読み聞かせや絵本の紹介などを行った。

(市民)

- * 青葉区内児童館の主催する児童館フェスタに参加して、おはなし会を実施した。(広瀬)

- * 宮城野区中央市民センターが主催する「ウェルカムひろば」に参加して宮城野区へ転入してきた乳幼児の親子連れに読み聞かせを行い、図書館の広報案内を行った。(宮城野)

- * 榴岡児童館と子育て支援クラブガーネット共催のママ・ココ・フェスティバルに参加し、手遊びや大型絵本の読み聞かせ、絵本の展示等を行った。(榴岡)

- * 小田原ことりのうた保育園の行事に参加し、おはなし会を行った。(榴岡)

- * 南小泉児童館と連携して、絵本に登場するカステラ作りとおはなし会を行った。(若林)

- * 若林区中央市民センター主催の「ワカチュウ子どもランド」にて、おてんとさんの会会員による影絵のおはなし会やワークショップを継続して開催した。(若林)

- * 児童館、のびすく、布絵本サークル等合同で開催する「かざぐるまサロン」にて、出張おはなし会を開催した。(若林)

- * 宮城県児童館連絡協議会主催の児童館職員等のスキルアップ研修会に講師を派遣し、ブックトークの講義を実施した。(泉)

- ・ 保育所に対して除籍済資料の無償譲渡を行い、資料の有効活用に努めた。

※平成29年度提供数 20件 1,167冊(平成28年度 7件 713冊)

平成29年度実施状況（続き）

【地域のボランティア育成と活動支援】

- ・「子ども読書支援パック」を継続して貸し出した。

※平成29年度貸出件数(ボランティア等) 260件(平成28年度 249件)

- ・読み聞かせボランティア養成講座終了後に、のびすくや児童館での読み聞かせの体験を実施し、ボランティア登録等その後の活動に結びつけた。

- ・ボランティアの協力を得ながら、年齢・対象別のおはなし会を積極的に実施した。

※平成29年度読書活動推進ボランティアの延べ人数 828人(平成28年度 723人)

- ・ボランティア団体の活動情報を募集し、集まった情報を館内に掲示紹介し、相互の情報共有を図った。

※平成29年度活動情報チラシ枚数 23枚(平成28年度 21枚)

- ・図書館を利用する機会の少ない子どもにも、本に親しむ機会を提供できるように、家庭文庫・地域文庫の資料の充実を図るため、文庫への貸出を継続して行った。

※平成29年度文庫登録数 22団体(平成28年度 24団体)

※平成29年度貸出件数 75件(平成28年度 90件)

※平成29年度貸出冊数 3,093冊(平成28年度 3,568冊)

- ・文庫活動を支援するため、文庫の会の勉強会でブックトークの手法や本の情報提供を行い、新刊案内等の広報紙を配布した。また、文庫との懇談会等を実施し、図書館との協力体制を継続して整えた。

- ・文庫やボランティアと連携して講演会や講座等の事業を行った。

※平成29年度実施件数 3件 参加人数 217人(平成28年度 2件 101人)

(各館の事例)

* 毎月1回土曜日にボランティアグループの協力を得て「おはなしパーク」を継続して開催した。(市民)

* 毎月2回、ボランティア団体「ブックトークの会コスモス」(第2水曜)及び「読み聞かせボランティアグループひなたぼっこ」(第3水曜)の協力を得て、おはなし会を開催した。(広瀬)

* 読み聞かせボランティア養成講座終了後に希望者を募り、原町児童館で読み聞かせの体験を実施した。(宮城野)

* 保育園から依頼を受け子どもや保護者、保育士を対象にしたおはなし会の実施や絵本の紹介、図書館のPRを行った。(榴岡)

* 区民まつりや仙台駅東エリアマネジメント協議会主催の事業に参加し、おはなし会や図書館のPRを行った。(榴岡)

* 毎月1回ボランティア団体「おはなしてんとうむし」の協力を得て、おはなし会を継続して開催した。(宮城野)

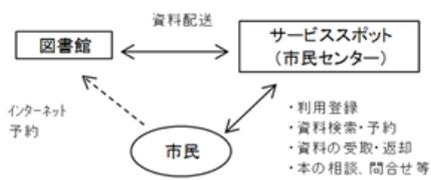
* 仙台駅東エリアマネジメント協議会が主催する「エキヒガシセタ交流会」に参加し、出張おはなし会やワークショップを行った。(榴岡)

* 駅東交流センターと協力し、相互に事業のPRに努めた。(榴岡)

* 毎月1回水曜日開催のおはなし会や、毎月28日開催の新寺こみち市「ヤギさんおはなしかい」を、ボランティアサークルの協力を得て実施した。(若林)

* 博物館と共催で子供向けの「出張ミュージアム子供図書室 知る見る政宗」講座を開催した。(泉)

* 仙台市子育てふれあいプラザのびすくでおはなし会を実施した。(泉)

施策	(1) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします
平成29年度実施状況	
<p>【市民センター等を活用した図書館サービス窓口の適正配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書検索・予約、予約資料の受取・返却ができるサービススポットの市民センターへの設置に向けて、関係部署との検討・協議を行った。  <ul style="list-style-type: none"> ・市民センターからの要請を受けて、図書ボランティア養成講座等に講師を派遣し、地域での読書活動の活性化に努めた。 <p>(各館の事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 榴ヶ岡市民センター(榴岡) 若林区中央市民センター(若林) 松森市民センター(泉) <p>【分室、移動図書館サービスの再編等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの移動図書館巡回要望の意見や利用状況を考慮し、巡回コース及び開設時間の調整・変更を行った。 ・移動図書館サービスについて、雨天時対応の見直しを行い、雨天時には車内で貸出・返却ができるようサービスを拡充した。拡充 	

施策	(2) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします
平成29年度実施状況	
<p>【高齢者サービスの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大活字文化普及協会への会員登録を継続し、同協会発行の大活字本の収集を行うとともに、集中選書会議で調整のうえ新刊を中心とした大活字本も購入し、全館で資料の充実を図った。 <p>※平成29年度末大活字本受入数 177冊(平成28年度386冊)</p> <p>※平成29年度末大活字本蔵書数 8,067冊(平成28年度末8,738冊)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の関心の高い分野をテーマとした資料展示や行事を実施した。 ・要望を受けて、付添なしで外出が困難な施設入所者に対する郵送貸出(有料)を開始した。新規 <p>(各館の事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 高齢者にも関心が高い分野(皇室・認知症等)をテーマとした資料展示やシニア向けの資料展示(宮城野、太白)、「充実のセカンドライフコーナー」(市民)、「生き生き家庭生活応援コーナー・シニア向けおすすめ本」(若林)、「医療・介護情報コーナー」(太白)、「ユニバーサルコーナー」(泉)を継続的に設置し、随時新刊本を追加して資料の充実を図り、高齢者に向けた資料提供に努めた。 * 絵本を楽しむシニア男子会による読み聞かせ「大人が楽しむおはなし会」開催した。(市民) * 杖ホルダー付き肘掛椅子を設置した。(市民) * シニア世代以上向けに、一般書のテーマ展示「大人プレミアム」を実施した。(広瀬) * カウンターに杖ホルダーを引き続き設置した。(宮城野) 	

平成29年度実施状況（続き）

- * シニア世代も楽しめる映画上映会を開催した。(宮城野、若林、太白)
- * 高齢者のニーズに対応し、映像資料を簡単にジャンル分けした目録をカウンターに備え付けた。(榴岡)
- * 活字の小さい文庫について、随時大きい活字の文庫へ買い替えた。(太白)
- * 施設見学等で拡大読書器の使い方等を説明した。(太白)

【障害のある人へのサービスの充実】

- ・ 心身の障害等により来館が困難な利用者に対し、図書館資料の郵送貸出を行った。
 - ※平成29年度郵送貸出延利用者数 3,621人(平成28年度3,563人)
 - ※平成29年度郵送貸出数 8,618冊・点(平成28年度8,695冊・点)
- ・ 視覚障害のある人へ、朗読ボランティアによる対面朗読サービスを実施した。
 - ※平成29年度対面朗読件数 135回(平成28年度134回)(メディアテーク分を除く)
 - * 太白図書館が担当し、福祉プラザを会場に対面朗読ボランティアスキルアップ講座を開催した。
- ・ 全館に拡大読書器、筆談ボードを継続して設置したほか、障害者への配慮に努めた。
(各館の事例)
 - * 拡大読書器、音声読書器を継続して設置した。(宮城野)
 - * ボランティア団体「拡大写本の会」による拡大写本制作の支援を引き続き行い、仕上がった拡大写本を受け入れし、利用に供した(拡大写本 5点完成)。(宮城野)
 - * LLブックやその解説本を、新たに購入した。(市民、太白)
 - * お絵描きボードを設置(1階)、指差しボードを設置(1階・2階)(泉)
- ・ 障害者サービスを紹介した案内リーフレットを、各館内のほか区役所の障害者サービス窓口や関係団体等で配布した。
- ・ 宮城野図書館が日本点字図書館(サピエ図書館)に施設登録し、利用者へのデイジー(DAISY)資料の貸出を継続して行うとともに、館内へのポスター掲示により広報した。
 - * 視覚障害者へのデイジー資料(録音図書)を作成した(担当:宮城野図書館)。(平成29年度 デイジー資料 327点 累計 857点)

平成29年度実施状況(続き)

- ・障害者サービスに配慮した行事を開催したほか、図書館ホームページ上でも障害者サービスの広報に務めた。

(各館の事例)

* 障害のある方の就労実習の受け入れを行った。(市民、宮城野、太白)

* 手話のみによる絵本の読み聞かせのほか、定例おはなし会においても、絵本の読み聞かせを手話付きで行った。

(市民)

* 「視覚障害者・弱視者の現況と支援」というテーマで講演会を開催した。(宮城野)

* 仙台朗読奉仕の会の協力のもと、「声に出して楽しむ読書」をテーマに大人のための朗読会を引き続き実施し、視覚障害者の方の参加につながった。(榴岡)

* 障害者サービス関連団体等からの依頼を受け、郵送サービスの説明と利用登録を行った。(市民、若林)

* 障害者関連施設等を訪問するなどして、障害者の方や支援者にヒアリングを行い、課題や解決方策案について検討した。(太白)

【外国人が使いやすいサービスの充実】

- ・ 選定会議、調整会議等で調整のうえ、外国語資料の充実を図った。

※平成29年度外国語資料受入数 64冊(平成28年度86冊)

※平成29年度末外国語資料蔵書数 4,778冊(平成28年度4,795冊)

- ・ 外国人向け利用案内(英語・中国語・韓国語)を継続して配布した。
- ・ 図書館ホームページで、英語・中国語・韓国語での情報提供を行った。

施策

(1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います

平成29年度実施状況

【計画的な資料の収集、保存、活用／資料収集方針に基づく分担収集と収蔵スペースの確保】

・仙台市図書館資料収集方針に基づき、集中選書会議を継続して実施し、専門書や高額資料の購入について調整のうえ、各館の分担収集分野に応じて配置することにより、図書館全体として資料の充実を図った。

●分担収集の概要

市民	郷土資料、東日本大震災関連資料、哲学・歴史・社会科学・ビジネス支援・建築・美術・言語関係資料		
宮城野	文学関係資料	若林	農業・園芸関係資料
太白	健康・医療関係資料	泉	児童書研究資料、自然科学・技術工学・ビジネス支援・福祉関係資料

・書庫内の資料の計画的な除籍により資料収蔵スペースを確保し、内容の古くなった資料は随時、開架から書庫に移動し、魅力的な書架の提供に努めた。

・除籍資料を有効活用するための市内各団体向け譲渡会を継続して開催した。

※平成29年度 (児童書)小学校、保育所等 38ヶ所 3,185冊

(一般書)市民センター等 8ヶ所 1,056冊

(各館の事例)

- * 市民の共有財産である図書館資料の取り扱いについて、汚破損資料を展示し、マナーアップを呼びかけた。(広瀬、宮城野、太白、泉)
- * 狭いスペースを有効利用するため、一部を文庫本に入れ替え、資料の充実に努めた。(榴岡)
- * 開架スペースに書架を増設し、震災文庫、大活字本を配架することで、利便性を図った。(若林)

施策 (2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます

平成29年度実施状況

【図書館サービスの広報と図書館像の共有】

- ・行事開催の案内等を市政だよりやフリーペーパーなどに掲載するほか、公共施設や商業施設にも配布・掲示し、幅広い層への周知を図った。
- ・多様な機関や市民団体との連携、行事・事業への参加等により、図書館サービスについての情報を発信した。
- ・図書館ホームページでのイベントのお知らせやメール配信により、周知を図った。

(各館の事例)

- *メディアテーク1階オープンスクエアでイベントを実施し、多くの来館者に図書館資料を紹介した。(市民)
- *「宮城地区まつり」に参加し、おはなし会を実施して図書館のPRにつとめた。(広瀬)
- *隣接する宮城野区役所の協力を得て、転入者へチラシを配布したり、区役所内のモニターディスプレイに宮城野図書館の案内映像を流すなどして、周知に努めた。(宮城野)
- *「みやぎの・まつり」に参加し、図書館のブースを設け、図書館の広報紙の配布やワークショップを行った。(榴岡)
- *JRや地下鉄の駅に、図書館の新刊案内やイベントポスター等を掲示し、広報に努めた。(広瀬、宮城野、太白)
- *複合施設の市民センターや児童館と協力して各種イベントに参加するなど、図書館利用者以外への広報に努めた。(広瀬、宮城野、若林、太白)
- *上映会通信「映画のハナシ」を発行し、視聴覚資料等の利用促進と情報提供を行った。(若林)
- *旧作の上映サークルや団体の上映イベントで講話・トークを行い、情報提供を行った。(若林)
- *大人のためのバックヤードツアーを実施し、館内の案内や図書館業務等について紹介した。また、長町商店街連合会が主催する「長町まちかど教室」でも、同様のバックヤードツアーを行った。(太白)
- *「ぱど」とみいず!」など地域密着フリーペーパーに講座の案内を掲載し、広報に努めた。(泉)
- *商業施設にイベントポスターを掲示し、広報に努めた。(泉)

【文字・活字文化振興のための市民活動の支援、市民との協働による図書館づくり】

- ・対面朗読ボランティアスキルアップ講座等、図書館で活動するボランティアを対象とした研修を実施した。
- ・読み聞かせボランティア養成講座を修了した参加者に、子どもと本をつなぐ活動をしているボランティアの活動情報を提供するとともに、活動の場を提供した。
- ・本の修理や書架整理等を行う館内ボランティアを募集し、市民参加を促進した。
- ・ボランティアや市民の協力を得て、各館で多様な取り組みを行った。
- ・「郷土の風」を継続発行した。(vol.8～vol.13)

(各館の事例)

- *ボランティアによるおはなし会を実施した。(各館)
- *本の修理や返却された本を書架に戻す作業を、ボランティアの協力を得て行った。(市民、宮城野、若林、太白、泉)
- *平成30年度から新たに資料修理ボランティアの活動を開始するため、募集と事前説明会を行った。(広瀬)
- *「広瀬図書館まつり」で、ボランティア団体との協働による「おはなし会リレー」を実施した。また、継続して実施している読書会事業の参加者が選書した資料を「読書会の本棚」として展示した。(広瀬)
- *活動中のボランティアの見学や情報交換の場を持ち、新たな参加を促した。(宮城野)
- *自主的な読書会を開催している団体のポスターを関連図書の本棚に掲示するなど、市民の読書活動を支援した。(宮城野)

平成29年度実施状況(続き)

- * 仙台駅東口界隈の活性化を支援する団体が主催する図書館活用についての講座へ、講師を派遣した。(榴岡)
- * 榴ヶ岡市民センター主催事業「輝く社会人になろう」へ講師を派遣し、本の紹介を行なった。(榴岡)
- * 榴ヶ岡市民センターと仙台市戦災復興記念館の共催事業「つなげよう平和のバトン」へ講師を派遣し、戦争を描いた絵本や文学作品の紹介を行った。(榴岡)
- * 生涯学習支援センター主催事業「図書ボランティアスキルアップ研修」へ講師を派遣した。(榴岡)
- * 読み聞かせボランティア定例会の開催、ボランティアの育成と実践の場(定例おはなし会、新寺こみち市でのおはなし会)の提供により、協働を促進した。(若林)
- * ボランティアと職員等で「私のおすすめ本」のPOP 広告を作成し、読書週間に本とともに展示した。(泉)

施策 (3) 図書館資源を適正に配分し有効に活用します

平成29年度実施状況

【システムやサービスのあり方の見直し】

- ・平成30年1月、図書館情報システムを更新した。**拡充**
- ・若林図書館の平成30年度からの第2期指定管理者の公募・選定を行い、協定書を締結した。
- ・平成30年度からの雑誌スポンサー制度導入に向けて、関係者との調整を進めた。**新規**

【資料管理の効果的なあり方についての検討】

- ・貴重な郷土資料が特に多い市民図書館と利用者の多い太白図書館について、盗難防止装置を設置するため検討を進めた。**新規**

施策	(4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います
平成29年度実施状況	
<p>【事業評価の継続実施／市民による評価や意見の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市図書館振興計画に基づき実施した事業が、地域や市民にどのような効果をもたらしたのか点検・自己評価を行い、第三者による評価として仙台市図書館協議会から意見を受けて報告書としてまとめ、市民に公表した。 ・市民の意見や要望を把握し、よりよいサービスが提供できる図書館経営を行うため、利用者向けアンケート調査や利用者懇談会を実施し、その結果をホームページで市民に公表した。 ・全館に意見箱を常設し、利用者の意見を聞く機会を設けるとともに、意見と回答の掲示を行った。 ・指定管理者制度導入館に対して管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページ上で公表した。 ・寄せられた意見、要望に応じて可能な改善を試みた。 <p>(各館の主な改善事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 児童用の読書通帳の配布、利用者カードの次回更新時期の表記を改善、利用者カードのデザイン刷新、電話での貸出延長(全館) * 館内巡回時の声掛け、照明の電球数増による明るさの確保、Wi-Fi環境の導入、館内で利用できるカゴの設置、新聞・雑誌の閲覧は1人1点の旨表示(市民) * 遮光用パーテーション設置、館内の臭気対策、利用マナーの掲示の工夫、フリーペーパーの設置(泉) * 拡大写本のリスト作成、館内視聴ブースの座席に荷物かごを配置(宮城野) * 館内巡回の強化や勧誘行為禁止の呼びかけ、閲覧席の利用マナーに関する掲示、左右に間仕切りがある閲覧席(2席)の新設、椅子等の配置換えによる利用の改善(太白) * 点字ブロックをまたがずに移動できるよう、カートの置き場所を変更(若林) * 館内視聴ブースなどで使うことのできる座布団及びブランケットを設置(広瀬) * 館内での飲食ルールについて閲覧席に掲示(榴岡) 	

施策 (5) 図書館職員の資質の向上に努めます

平成29年度実施状況

【長期的視野から選書を行う職員の継続的養成／専門性と経営能力を備えた職員の養成】

・専門機関等から講師を招き、各種研修を実施した。

(実施テーマ)

- * 情報活用力の向上について
- * 図書資料の補修
- * 地域と図書館をつなぐ取り組みについて
- * 人を引き付けるPOP広告の作成について
- * 図書館の情報発信と広報力の向上について
- * 児童書の選書について

・国立国会図書館、日本図書館協会、北日本図書館連盟等の専門機関等の実施する研修に参加した。

(各館の参加状況)

- * 北日本図書館連盟の研究協議会(市民、若林)
- * 図書館地区別(北日本)研修(太白)
- * 国立国会図書館の研修会(市民、宮城野、泉)

【多様な利用者ニーズに対応したサービス提供と職員のスキルアップ】

- ・窓口対応に求められる接遇について専門家を講師に招き、研修を実施した。
- ・市民図書館主催の研修について、研修レポートを全館で共有する取り組みを実施した。
- ・関連する各種研修に担当職員が参加し、スキルアップを図った。

(各館の参加状況)

- * 図書館におけるハンディキャップサービス、YAサービスに関する指定管理者主催研修(広瀬、榴岡)
- * 公共図書館のマネジメントクラスを対象とする指定管理者主催研修(広瀬、榴岡)
- * ブックトーク、手あそび等をテーマとする各種の外部研修(宮城野、榴岡)
- * 対面朗読ボランティアスキルアップ講座(宮城野)
- * 指定管理者主催による、図書館における手話の基礎研修(若林)
- * 全国図書館大会東京大会の障害者サービス分科会(太白)
- * レファレンスの実践的なスキルを向上させることを目的とした指定管理者主催研修(榴岡)
- * 未来の図書館研究所シンポジウム「図書館とソーシャルイノベーション」(若林)
- * 日本子どもの本研究会全国大会(若林)
- * ストーリーテリング研修(若林)
- * 東京子ども図書館の職員によるおはなしの講習会(若林)
- * 国際子ども図書館の児童文学連続講座(泉)

◇◆◇方向性ごとの課題・改善策◆◆◇

方向性1「地域や市民に役立つ図書館」についての課題・改善策

【震災関連資料の活用】

- ・継続的に収集している「3.11震災文庫」の資料が、広く市民に読み継がれるための取り組みを実施していく。
- ・震災アーカイブ構築の取り組み(所管:防災環境都市・震災復興室)への参画を通じ、資料の活用を図っていく。

【電子情報の整備・充実、デジタル環境への対応】

- ・SNSによる情報発信の検討、電子資料の調査、各種ネットワークへの参加等、状況に応じた取り組みの実現に向けて調整を進めていく。

方向性2「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」についての課題・改善策

【妊娠期の親を含む乳幼児向けサービスの充実】

- ・「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」を活用し、すべての乳幼児が絵本と出会う機会を持てるための取り組みを検討する。

【ヤングアダルト世代の読書支援の充実】

- ・ホームページによる継続的発信に加え、SNSを活用した広報を検討し、中高生への発信力を高める。
- ・いじめや命をテーマにした情報提供など、中高生の心に寄り添う読書支援の取り組みを進める。

方向性3「市民一人ひとりに利用しやすい図書館」についての課題・改善策

【市民センターでの図書館サービスの拡充】

- ・図書館から遠い地域の市民にもサービスが届くための施策として、市民センターでの図書館サービス拡充方策について関係部署とさらなる協議・検討を進め、図書館資料の受取・返却ができる図書館サービススポット設置を進めて行く。

【ユニバーサルサービスに向けた取り組み】

- ・高齢者、障害者、外国人等のニーズ把握のための調査や研修等に努め、障害のある方でも講座等に参加しやすい環境づくりや職員のコミュニケーション能力向上のための取り組みが必要である。

方向性4「自らの変革を進める図書館」についての課題・改善策

【資料の適正管理と保存のあり方の検討】

- ・不明資料を低減し、所蔵資料をより適切に管理するため、盗難防止装置の更なる導入の検討を進める。

【市民協働による図書館づくり】

- ・図書館の現状や今後の取り組みなどを広く発信するとともに、ボランティアとの連携等市民が自主的、積極的に図書館の事業に参加できる企画や環境づくりを進める。